

平成 21 年 5 月 15 日 記者会見 質疑応答（大阪）

発表内容：平成 20 年度決算について

日 時：平成 21 年 5 月 15 日（金）15 時 20 分～16 時 10 分

場 所：関西金融記者倶楽部

発 表 者：りそなホールディングス 檜垣社長、近畿大阪銀行 桔梗社長

【檜垣社長の役員人事に関する説明：大阪に対する考え方】

- ・ グループの役員人事について簡単にご説明いたします。基本的な考え方は 2 年前に会長の細谷がご説明しております。1 つは外部から人を求めない、1 つは集団経営を実施していく、もう 1 つがその過程で世代交代を図っていくということです。
- ・ 大阪に対しての考え方をもち株会社の社長としてご説明いたします。今回、りそな銀行会長の細谷が代表権を返上、社長、二人の副社長、私の 4 人が代表権者になりました。そのうちの 1 人に広富専務が副社長に昇格し、代表取締役として西日本全体を担当、関西の顔になります。これを踏まえても我々の大阪への考え方は理解いただけるのではないかと思います。また近畿大阪銀行の桔梗社長と協力して関西地域のりそなグループのシェアを上げてもらいたいと思います。

【質疑応答】

Q. ホールディングス全体で 1 兆 8 千億ある優先株について、近畿大阪分はどれだけあるのか？

A. ホールディングスの保有する優先株式の中の丙種 6 0 0 億がそれに当たります。ただし、当初は近畿大阪銀行に注入されたものですが、現在ではりそな HD が肩代わりする形となっています。

Q. 近畿大阪銀行の税効果資本を控除した後の Tier1 比率については？

A. 4 % ははるかに超えており十分健全な状況です。近畿大阪銀行はりそなホールディングスの 1 0 0 % 子会社ですので、ホールディングスとしてみていただきたいと思います。近畿大阪は 1 年分、他の銀行は 5 年分の繰り延べ税金資産を計上しています。過去の反省に基づき、厳格にストレスをかけています。グループ全体でみても Tier1 に占める繰り延べ税金資産の比率は 1 4 % 台程度に抑えているといます。今話題になっている自己資本の質については何ら問題ないという認識を持っています。近畿大阪銀行についても同様です。全体的な自己資本については持ち株会社としてコントロールします。単独で運営している銀行とは違うのだということをご理解いただきたいと思います。

Q. 変動利付国債の評価について理論値を採用しているのか？

A. していません。グループ全体で市場価格ベースでやっています。

Q. 有価証券の保有目的区分の変更は行っているのか？

A. 行っていません。近畿大阪銀行の変動利付国債については平成 1 7 年に、ほぼ全額に当たる約 1 0 0 0 億を売却しました。今期については、有価証券の残高が 1 5 0 0 億程度落ち込んでいましたので、1 2 5 0 億程度の変動利付国債を満期保有目的で購入しました。

- Q. 貸出条件緩和債権の要件が緩和されたが、対象となる債権額は？
- A. 対象先としては300先程度をリストアップして厳格に内容を精査しました。結果、130件程度で債権額にして100億強、引当としては20数億の戻りがありました。
- Q. 近畿大阪銀行の22年3月期決算見込みで与信費用を85億と見ているが、上期と下期での内訳は？
- A. 概ね上期下期で同額を見積もっています。

以上